HRM (Human Resource Management): 人的資源管理

組織における人材の採用、教育、評価、配置など、全体的な管理を行う仕組み。

OJT (On-the-Job Training): 実地訓練

実際の職務を通して、業務を学びながらスキルを習得する方法。

Off-JT (Off-the-Job Training): 職場外研修

職場外で行われる、セミナーや講習などによる教育や訓練のこと。

HRテック (Human Resource Technology): 人事技術

AIやビッグデータ、クラウド技術などを活用して、人材管理や採用、教育などを支援する技術のこと。

CEO (Chief Executive Officer): 最高経営責任者

企業の最高責任者であり、経営全般の戦略決定や指揮を取る役職。

CIO (Chief Information Officer): 最高情報責任者

企業の情報戦略やITシステムの管理、最適化を担当する役職。

COO (Chief Operating Officer): 最高執行責任者

企業の事業運営や日常業務を統括する役職。CEOの指示を受けて業務を実行する。

CFO (Chief Financial Officer): 最高財務責任者

企業の財務全般を管理し、資金調達や予算管理、財務戦略を担う役職。

CSR (Corporate Social Responsibility): 企業の社会的責任

企業が利益追求だけでなく、社会や環境に対して果たすべき責任を指す。

CDP (Career Development Program): キャリア開発プログラム

従業員のキャリアパスを明確にし、成長や昇進のための計画を立てるためのプログラム。

ABC分析: 活動基準原価計算

各活動にかかるコストを分析して、どの活動が企業に最も価値をもたらしているかを明らかにする手法。

ROE (Return on Equity): 株主資本利益率

株主が出資した資本に対して、どれだけの利益を上げたかを示す指標。

RFM分析: リピート顧客分析

顧客の購買履歴を基に、最近の購入日（Recency）、購入頻度（Frequency）、購入金額（Monetary）から顧客の価値を分析する手法。

ROA (Return on Assets): 総資産利益率

企業が持つ資産をどれだけ効率的に使って利益を上げたかを示す指標。

ROI (Return on Investment): 投資利益率

投資した資金に対して、どれだけの利益が得られたかを示す指標。

PER (Price Earnings Ratio): 株価収益率

企業の株価がその利益に対してどれだけ高いかを示す指標。PERが高いほど、投資家がその企業の将来性に期待していると考えられる。

GDPR (General Data Protection Regulation): 一般データ保護規則

欧州連合（EU）で施行されている、個人データ保護に関する厳格な規則。企業が個人データを扱う際の基準を定めている。

JANコード (Japanese Article Number): 日本のバーコード規格

日本国内で使われている商品識別のためのバーコード規格。

QRコード (Quick Response Code): 高速読み取りコード

多くの情報を迅速に読み取ることができる2次元バーコード。

ISO9000: 品質管理の基本規格

品質管理システムの枠組みを提供する国際規格の総称。

ISO9001: 品質マネジメントシステム規格

組織の品質管理システムを規定し、顧客満足を向上させるためのプロセスを標準化した規格。

ISO9002: 製造・施工品質規格

主に製造業やサービス業における品質管理に関する規格（現在はISO9001に統合されている）。

ISO9004: 品質改善指針

組織の全体的なパフォーマンスを向上させるためのガイドラインを提供する規格。

ISO14001: 環境マネジメントシステム規格

環境保護に関する管理システムを構築し、持続可能な活動を促進するための国際標準規格。

ISO27001: 情報セキュリティマネジメントシステム規格

企業の情報資産を保護するための管理システムのフレームワークを規定する国際規格。

ASCIIコード: 文字コードの標準

コンピュータが文字や記号を理解するための、7ビットの文字コード規格。

Gコード: CNC機械用の制御コード

NC工作機械の制御を行うためのプログラミング言語の一種。

SWOT分析: 強み・弱み・機会・脅威分析

企業やプロジェクトの内部要因（強み・弱み）と外部要因（機会・脅威）を分析し、戦略を立てる手法。

PPM (Product Portfolio Management): 製品ポートフォリオ管理

企業の全製品ラインや事業の分析手法。市場成長率と市場シェアの観点から製品の位置付けを判断し、戦略的な意思決定を行うために使用される。

VC (Venture Capital): ベンチャーキャピタル

成長が期待されるスタートアップ企業などに対して資金を投資する投資会社やファンド。

IPO (Initial Public Offering): 新規株式公開

企業が株式市場に上場し、初めて株式を一般に公開すること。

4P: マーケティングミックスの4要素

製品 (Product)、価格 (Price)、場所 (Place)、プロモーション (Promotion) の4つの要素で、マーケティング戦略を立てる際の基本概念。

4C: 顧客中心のマーケティング戦略の4要素

顧客価値 (Customer Value)、コスト (Cost)、利便性 (Convenience)、コミュニケーション (Communication) の4つを基にしたマーケティング戦略。

3C分析: 戦略立案のフレームワーク

競合 (Competitor)、顧客 (Customer)、自社 (Company) の3つの観点から企業の戦略を分析するフレームワーク。

バリューチェーン分析: 価値連鎖分析

企業の活動を主活動（物流、製造、マーケティングなど）と支援活動（技術開発、人的資源管理など）に分け、それぞれの活動がどの程度の価値を生み出しているかを分析する手法。

UX (User Experience): ユーザー体験

製品やサービスの利用に伴い、ユーザーが得る全体的な体験や満足度のこと。

BSC (Balanced Scorecard): バランス・スコアカード

財務指標に加え、顧客、内部プロセス、学習と成長の観点から企業の業績をバランスよく評価する手法。

ERP (Enterprise Resource Planning): 企業資源計画

企業の経営資源（人材、資材、情報、資金）を統合管理し、業務効率化を図るためのシステム。

CRM (Customer Relationship Management): 顧客関係管理

顧客との関係を管理し、顧客満足度を向上させるための戦略や技術。

SFA (Sales Force Automation): 営業支援システム

営業活動を効率化し、管理するためのソフトウェアやシステム。

SCM (Supply Chain Management): サプライチェーン管理

供給者から消費者までの製品供給プロセスを統合的に管理し、効率化を図る手法。

CSF (Critical Success Factor): 重要成功要因

企業が成功するために不可欠な要素や条件。

KPI (Key Performance Indicator): 重要業績評価指標

企業の目標達成度を測るための定量的な指標。

RFID (Radio Frequency Identification): 無線自動認識技術

電波を利用して情報を自動で認識・管理する技術。物流管理や在庫管理などに広く利用される。

NFC (Near Field Communication): 近距離無線通信

近距離で無線通信を行う技術。電子決済や交通系ICカードなどに使われる。

GPS (Global Positioning System): 全地球測位システム

衛星を利用して地球上の位置を特定するシステム。車のナビゲーションやスマートフォンの位置情報サービスに利用される。

AI (Artificial Intelligence): 人工知能

人間の知能を模倣し、学習や推論、認識を行う技術。

CAD (Computer-Aided Design): コンピュータ支援設計

コンピュータを利用して設計や製図を行うシステム。建築や機械設計などで利用される。

CAM (Computer-Aided Manufacturing): コンピュータ支援製造

製造プロセスを自動化・最適化するためにコンピュータを用いる技術。

JIT (Just-In-Time): ジャストインタイム

必要なものを、必要な時に、必要な量だけ供給する生産管理手法。

CIM (Computer-Integrated Manufacturing): コンピュータ統合生産

製造工程全体をコンピュータで統合管理するシステム。

FMS (Flexible Manufacturing System): 柔軟な製造システム

変化する生産要求に対応できる柔軟な製造システム。

EC (Electronic Commerce): 電子商取引

インターネットを通じて行われる商品やサービスの取引。

CGM (Consumer Generated Media): 消費者生成メディア

ユーザーが作成したコンテンツを基に成り立つメディア（例: SNSやレビューサイト）。

IoT (Internet of Things): モノのインターネット

あらゆるモノがインターネットに接続され、相互に情報をやり取りする仕組み。

EA (Enterprise Architecture): エンタープライズアーキテクチャ

企業全体の業務プロセスやITシステムを統合的に設計・管理する手法。

SOE (System of Engagement): エンゲージメントシステム

顧客や従業員との関わりを強化するためのシステム。

SOR (System of Record): 記録システム

組織の業務データや情報を正確に記録・保存するシステム。

DFD (Data Flow Diagram): データフローダイアグラム

システム内のデータの流れを視覚的に表現する図。

ER図 (Entity-Relationship Diagram): エンティティ関係図

データベース設計において、エンティティ（実体）とそれらの関係を表す図。

BPMN (Business Process Model and Notation): ビジネスプロセスモデリング記法

業務プロセスを視覚的にモデリングするための標準記法。

BPR (Business Process Reengineering): 業務プロセス再設計

企業の業務プロセスを根本的に見直し、効率化や改善を図る手法。

BPM (Business Process Management): 業務プロセス管理

業務プロセスを継続的に改善し、最適化するための管理手法。

RPA (Robotic Process Automation): ロボティック・プロセス・オートメーション

事務作業などの定型業務をソフトウェアロボットが自動化する技術。

IaaS (Infrastructure as a Service): インフラストラクチャー・アズ・ア・サービス

ITインフラ（サーバー、ストレージ、ネットワーク）をインターネット経由で提供するサービス。

PaaS (Platform as a Service): プラットフォーム・アズ・ア・サービス

アプリケーションを開発するためのプラットフォームを提供するサービス。

SaaS (Software as a Service): ソフトウェア・アズ・ア・サービス

クラウド経由でソフトウェアを提供し、ユーザーがインターネット上で利用するサービス。

DaaS (Desktop as a Service): デスクトップ・アズ・ア・サービス

仮想デスクトップ環境をクラウド経由で提供するサービス。

BI (Business Intelligence): ビジネスインテリジェンス

企業のデータを分析し、経営判断に役立てるための技術や手法。

3V: ビッグデータの特徴

ビッグデータの3つの特性を指し、Volume（データ量）、Velocity（データ生成の速度）、Variety（データの多様性）。

SLCP (Software Life Cycle Process): ソフトウェアライフサイクルプロセス

ソフトウェア開発の全プロセスを管理するためのガイドライン。

ROI (Return on Investment): 投資収益率

投資に対してどれだけの利益が得られたかを示す指標。

RFI (Request for Information): 情報提供依頼書

ベンダーや供給者から情報を得るために発行される文書。

EUC (End User Computing): エンドユーザーコンピューティング

エンドユーザー自身がシステムを直接操作・開発できる環境。

RAD (Rapid Application Development): 迅速なアプリケーション開発

プロトタイピングを用いて迅速にソフトウェアを開発する手法。

PMBOK (Project Management Body of Knowledge): プロジェクトマネジメント知識体系

プロジェクト管理の知識体系をまとめたガイド。

WBS (Work Breakdown Structure): 作業分解構造

プロジェクトを階層的に分解し、管理しやすくする手法。

ITIL (Information Technology Infrastructure Library): ITサービス管理のフレームワーク

ITサービスの管理と運用に関するベストプラクティスを集めたフレームワーク。

PDCA (Plan-Do-Check-Act): 計画・実行・評価・改善のサイクル

継続的な業務改善のためのフレームワーク。

SLA (Service Level Agreement): サービスレベル合意書

提供されるサービスの内容やレベルについて、提供者と利用者の間で交わされる合意書。

SLM (Service Level Management): サービスレベル管理

SLAに基づき、サービスの品質を管理し、維持するプロセス。

BCM (Business Continuity Management): 事業継続管理

災害や危機が発生した際に事業を継続するための管理手法。

BCP (Business Continuity Plan): 事業継続計画

企業が非常時に事業を継続するための計画。

UPS (Uninterruptible Power Supply): 無停電電源装置

電力供給が途切れた場合に、一時的に電力を供給する装置。

AND: 論理積

論理回路で、すべての入力が真の場合に出力が真になる演算。

OR: 論理和

論理回路で、いずれかの入力が真であれば出力が真になる演算。

XOR: 排他的論理和

論理回路で、入力のどちらかが真であれば出力が真になる演算。

NOT: 否定

論理回路で、入力が真の場合に出力が偽になり、入力が偽の場合に出力が真になる演算。

NAND: 否定論理積

ANDの逆で、すべての入力が真の場合に出力が偽になる演算。

NOR: 否定論理和

ORの逆で、いずれかの入力が真であれば出力が偽になる演算。

ビット: データの最小単位

2進数の1桁で、0または1を表す。

バイト: 8ビットで構成される単位

コンピュータがデータを扱う際の基本単位。

HTML (HyperText Markup Language): ハイパーテキストマークアップ言語

ウェブページを作成するための言語。

XML (eXtensible Markup Language): 拡張可能マークアップ言語

データの構造を定義し、汎用性のある形式で情報を保存・転送するための言語。

CSS (Cascading Style Sheets): カスケーディングスタイルシート

ウェブページのスタイルを定義するための言語。

RAID 0: データストライピング

データを複数のディスクに分散して保存し、読み書き速度を向上させる方式。

RAID 1: ミラーリング

同じデータを複数のディスクに保存し、データの冗長性を確保する方式。

NAS (Network Attached Storage): ネットワーク接続ストレージ

ネットワークを通じて共有できるストレージデバイス。

MTTR (Mean Time To Repair): 平均修復時間

故障が発生してから修理が完了するまでに要する平均時間。

CPU (Central Processing Unit): 中央処理装置

コンピュータの中枢で、計算や処理を行う装置。

GPU (Graphics Processing Unit): グラフィックス処理装置

画像や動画の処理を行う装置。

HDD (Hard Disk Drive): ハードディスクドライブ

データを磁気で保存する記憶装置。

SSD (Solid State Drive): ソリッドステートドライブ

フラッシュメモリを使用してデータを保存する高速記憶装置。

RAM (Random Access Memory): ランダムアクセスメモリ

コンピュータが一時的にデータを保存するメモリ。

ROM (Read Only Memory): 読み取り専用メモリ

書き込みができず、データの読み取りのみ可能なメモリ。

DRAM (Dynamic Random Access Memory): 動的ランダムアクセスメモリ

一定の時間ごとにリフレッシュ（再書き込み）が必要なメモリ。

SRAM (Static Random Access Memory): 静的ランダムアクセスメモリ

DRAMと違い、リフレッシュが不要なメモリ。

dpi (dots per inch): 1インチ当たりのドット数

画像解像度の単位。高いほど細かい表現が可能。

ppm (pages per minute): 1分当たりの印刷ページ数

プリンタの速度を表す単位。

RGB: 赤 (Red)、緑 (Green)、青 (Blue) の色モデル

ディスプレイや画像処理で使用されるカラー表現モデル。

USB (Universal Serial Bus): ユニバーサルシリアルバス

コンピュータと周辺機器を接続するための標準的なインターフェース。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface): 高解像度マルチメディアインターフェース

映像や音声をデジタルで伝送するインターフェース。

Bluetooth: 短距離無線通信技術

無線でデータをやり取りするための技術。主にモバイルデバイスやPCで利用される。

RFID (Radio Frequency Identification): 無線自動識別技術

電波を利用してデータを無線で読み取る技術。

OS (Operating System): オペレーティングシステム

コンピュータ全体を管理し、アプリケーションの実行を制御するソフトウェア。

BIOS (Basic Input/Output System): 基本入出力システム

コンピュータを起動するための基本的なソフトウェア。

OSS (Open Source Software): オープンソースソフトウェア

ソースコードが公開されており、誰でも使用、修正、配布できるソフトウェア。

DBMS (Database Management System): データベース管理システム

データベースを管理し、効率的にデータを処理するためのシステム。

LAN (Local Area Network): ローカルエリアネットワーク

限られたエリア内で使用されるコンピュータネットワーク。

WAN (Wide Area Network): 広域エリアネットワーク

より広範囲で使用されるネットワーク、通常はインターネットなど。

ESSID (Extended Service Set Identifier): 拡張サービスセット識別子

無線LANネットワークを識別するための名前。

SMTP (Simple Mail Transfer Protocol): メール送信のためのプロトコル

メールを送信するために使用されるプロトコル。

POP (Post Office Protocol): メール受信プロトコル

メールを受信するためのプロトコル。POP3が一般的。

IMAP (Internet Message Access Protocol): インターネットメッセージアクセスプロトコル

メールをサーバに保存したままアクセスできるプロトコル。

FTP (File Transfer Protocol): ファイル転送プロトコル

ファイルをサーバとクライアント間で転送するためのプロトコル。

NTP (Network Time Protocol): ネットワークタイムプロトコル

ネットワーク経由で時刻を同期するためのプロトコル。

DNS (Domain Name System): ドメインネームシステム

ドメイン名とIPアドレスを紐付けるためのシステム。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol): 動的ホスト構成プロトコル

ネットワーク上で自動的にIPアドレスを割り当てるプロトコル。

To: 宛先

メールの送信相手。

BCC (Blind Carbon Copy): ブラインドカーボンコピー

他の受信者に見えない形でメールを送信する。

CC (Carbon Copy): カーボンコピー

メインの宛先に加えて、他の受信者にもメールを送る機能。

RSS (Really Simple Syndication): ウェブフィード

ウェブサイトの更新情報を自動的に配信するためのフォーマット。

Cookie: クッキー

ウェブサイトが利用者のブラウザに保存する小さなデータファイル。

MVNO (Mobile Virtual Network Operator): 仮想移動体通信事業者

自社で通信インフラを持たず、他社のネットワークを借りてモバイルサービスを提供する事業者。

FTTH (Fiber To The Home): ファイバートゥザホーム

光ファイバーを利用して家庭まで高速インターネットを提供する技術。

VoIP (Voice over Internet Protocol): インターネットプロトコルを利用した音声通話

インターネットを通じて音声通話を行う技術。

BLE (Bluetooth Low Energy): 低消費電力Bluetooth

通常のBluetoothよりも省電力で通信できる技術。

LPWA (Low Power Wide Area): 低消費電力広域ネットワーク

遠距離でも低消費電力でデータ通信を行うための無線通信技術。

LTE (Long Term Evolution): 長期的進化型通信規格

4Gと呼ばれる高速モバイル通信の一つ。

SPAM: 迷惑メール

大量に送られる無差別な広告メールや悪意のあるメール。

ISMS (Information Security Management System): 情報セキュリティマネジメントシステム

組織の情報セキュリティを管理・維持するためのシステム。

CA (Certification Authority): 認証局

デジタル証明書を発行し、通信の信頼性を保証する機関。

PKI (Public Key Infrastructure): 公開鍵基盤

公開鍵と秘密鍵を使った暗号技術のインフラストラクチャー。

HTTPS (HyperText Transfer Protocol Secure): セキュアハイパーテキスト転送プロトコル

SSL/TLSによって暗号化されたHTTPプロトコル。

WPA2 (Wi-Fi Protected Access 2): 無線LANの暗号化方式

無線LANにおけるセキュリティプロトコルの一つで、強力な暗号化を提供する。

VPA (Virtual Private Assistant): 仮想プライベートアシスタント

AIによる音声やチャットを通じた支援を行う仮想のアシスタント。

WAF (Web Application Firewall): ウェブアプリケーションファイアウォール

ウェブアプリケーションへの攻撃を防御するためのファイアウォール。

DMZ (Demilitarized Zone): 非武装地帯

内部ネットワークと外部ネットワーク（インターネット）の間に配置されるセキュリティエリア。

SSL/TLS (Secure Sockets Layer/Transport Layer Security): 暗号化通信のプロトコル

インターネット通信におけるセキュリティを確保するための暗号化プロトコル。

MDM (Mobile Device Management): モバイルデバイス管理

企業が従業員のモバイルデバイスを管理・保護するための技術やソフトウェア。